

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2001

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 2-19-5
☎ 823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

新春のつどい盛大に

2つの選挙で日本共産党の躍進を

「改憲手続法許さない」 宮本たけしさんがあいさつ

十四日午後、日本共産党新春のつどいが、市民会館で盛大におこなわれました。

主催者代表あいさつの後、宮本たけし前参議院議員があいさつ。

宮本さんは、公明党の太田昭宏代表が記者会見で国民投票法制度を含めた改憲手続き法案について、「五月三日の憲法記念日の前に、できれば成立を期したい」と発言したこと、「民主党にも賛成をいただいて、多くの国民の理解と自公民三党中心に賛成する中で成立を願っている」と述べたことを紹介。

民主党が改憲手続き法案に「賛成」の意向の中、憲法改定問題でも「自民・民主の対決」などないこと。「平和の党」などと自称する公明党が与党に入っても、何の歯止めにもならないことを明らかに

しました。「五月三日前の成立」という点では、ちょうどその時期に一斉地方選挙がおこなわれること、日本の進路にかかわる大事な選挙となってきた一斉地方選挙で日本共産党の躍進をと訴えました。

太田くみ子さんが 決意表明おこなう

「つどい」では、各後援会からのうたや日本舞踊、民謡などの出し物があり、最後に太田くみ子府政対策委員長、中林かずえ、寺本とも子、松尾信次、中谷光夫、田中ひさ子各市会議員、太田とおる

くらし・福祉対策委員長より、決意表明がありました。尚、午前中は学習会があり十六人の定数で六人の日本共産党議員を持つ、京都府大山崎町のすすんだ経験を学びました。



視界 昨年十月一日現在の大阪府の人口は約八八二万人。この一年間で五〇七五人増加しています。市町村別人口では増加が二十、減少が二十三。寝屋川市の人口は二四〇四三〇人とかろうじて二十四万人台を維持していますが、一年間で一三八六人減少しました▼日本の人口は一〇〇年後にいまの半分以下、六〇〇〇万人程度になると予測されています。同時に自治体間を人が移動するため、人口減少が一律にすすんでいるわけではありません。寝屋川市の人口減少は、いまの行政のすすめ方と無関係とは考えられません▼いま寝屋川市は「将来を見すえたまちづくり」の名で二つの駅前再開発、区画整理事業などを最優先ですすめています。しかし、将来人口の大幅な減少が確実な中、大きなビルをつくったり、郊外型スーパーを設置することが必要なのが、問われます▼ヨーロッパでは建てかえの際には規模を縮小すること、空き地などを利用して緑を回復することなどをすすめています。人口増加を前提にした二十世紀型の発想は、抜本的に見直すべきです。

議員とも本寺

質問所で作業北斗・すばる



十二月市議会一般質問で寺本議員は、すばる・北斗福祉作業所について質問しました。今年四月から指定管理者制度が導入されましたが、この間、市議会では学卒者の全員受

重度障害者の受け入れ 人的・財政的支援を

請願三項目を守れ

受け入れや重度障害者の受け入れ、相談窓口の設置の三項目の請願が採択されています。障害者団体、家族関係者で法人を立ち上げ、作業所の公的役割を後退させないようがんばっています。四人の市職員が派遣

今年四月から、養護学校卒業生で、酸素吸入が必要な重度の障害者が入所を希望されている中、医療的なケアや専門的な対応がもたらわれています。寺本議員は、市として人的、財政的な支援をおこない、重度障害の利用希望者の願いにこたえるよう、市にとめました。

「法人との協定に基づく対応になるが、医療的対応の必要性や、

乳幼児医療費助成制度 就学前まで実施を

田中議員が一般質問でもとめる

一般質問で田中議員は、乳幼児医療費助成制度について質問。内閣府の女性意識調査でも、「今後の少子化対策として重要である」と考えているもの

では、「経済的措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当など)」がトップであることを指摘しました。その上で田中議員は

茨木市、堺市、門真市などで、今年度対象年齢引き上げを実施していることを紹介。子育て世代の転出が増加する寝屋川市で、対象年齢を就学前まで引き上げることを求めました。

また田中議員は、新しい制度である「認定子ども園」について質問。

認定子ども園が①保育に欠ける子どもの扱いに大きな格差をもたらす②園独自の保育料設定によって、保育料



議員日誌



松尾 信次

引き上げにつながるおそれがある③延長保育料の徴収で保護者負担がふえる④従来の最低保育基準を下回るなどの問題を質問しました。

田中議員は行政が公的責任をしっかりと果たすよう、もとめました。

日本共産党大演説会のご案内

とき： 07年2月5日(月)夜7時開会

ところ： 大阪城ホール

弁士： 日本共産党委員長 志位 和夫
前参議院議員 宮本 たけし
元参議院議員 山下よしき



条件整備等、総合的に検討する」との答弁がありました。

市内の商業者で組織する寝屋川市商業団体連合会(商団連)の新年年賀会に出席しました。

さつでは、空き店舗対策や配送サービスの具体化などにふられました。地域の商店街の活性化へ、私達も努力したいと思います。